

山行報告書

報告書作成

2008年8月13日

山名 [山域]	阿弥陀岳 (南八ヶ岳)	目的と方法	夏山合同山行
登山期間	2008年8月2・3日	山行形態	テント泊 周回
参加人数	4人		

行動記録

2日(土)岩津市民センター(6:05) = 平谷道の駅(8:20 8:25) = 飯田山本IC(7:55) = 駒ヶ岳SA(8:15 8:30) = 諏訪IC(9:00) = 茅野駅(9:05 9:15) = 美濃戸口(9:55 10:25) = 美濃戸山荘 - 休憩(12:20 12:40) - 行者小屋(14:30)

3日(日) 行者小屋(4:30) - 阿弥陀岳稜線分岐(5:45 6:00) - 中岳 - 阿弥陀岳稜線分岐(7:00) - 阿弥陀岳(7:40 8:05) - 不動清水(9:40) - 御小屋山分岐(10:40) - 阿弥陀岳登山口(11:55) - 美濃戸口(12:25 12:45) = もみの湯(12:50 14:05) = そばの郷(15:00) = 茅野駅 = 諏訪IC = 駒ヶ岳SA(16:30) = 飯田山本IC(16:50) = 平谷道の駅(17:20 17:30) = 岩津市民センター(19:00)

概念図



日誌

茅野駅で山本則さんをピックアップ。

美濃戸口の駐車場はこの時間になると満車に近い状態。トイレ有料¥100

美濃戸口から美濃戸山荘までの林道は四駆でないと腹をする恐れ有り。

行者小屋のテント場はテントが小屋周辺まであふれ、早めの到着が望ましい。

阿弥陀岳への登りは急な岩場が続くが足場やはしごがありゆっくり登れば問題はない。

縦走コースの下りは登りと違い掘割状の小石の多い急斜面でしっかりした足場がなく、ロープを頼りにずり落ちるように降りていく。荷物があると大変。50分程で開放され、ホット一息。

樹林帯にはいると、一変して苔むしたシラビソ林となりリンネソウの咲く尾根歩きとなる。

御小屋山分岐で右へ。美濃戸口へと向かう。

阿弥陀岳登山口から先は舗装された別荘地のなかの、車道歩きとなり、一番つらい歩きとなる。

飯田山本IC ~ 諏訪IC 通割 ¥1200 美濃戸口駐車場 ¥500/日 行者小屋のテント場 ¥500/一人
走行距離 約430km

感想

周回コースのため荷物をしょっての阿弥陀岳越えは岩場の急登。ザレ場の急降下と細心の注意が必要でした。

しかし、赤岳方面の賑わいとは対照的でした。静かなコースでした。